

「IOCによるトランスジェンダー選手の参加規定」(p. 17)に関する追加情報

2021年11月、IOCは国際競技団体(IF)が国際大会の参加資格を作るうえで参考となる新たな指針を発表しました。

<https://stillmed.olympics.com/media/Documents/News/2021/11/IOC-Framework-Fairness-Inclusion-Non-discrimination-2021.pdf>

新たな指針には、「参加資格は、選手が性自認や生物学的な性の多様性によって構造的に大会から排除されることがないように、公平性をもって作られなければならない」ことが記載され、以下の10の原則が提示されています。

1. 排除がないこと(Inclusion)
2. 被害の防止(Prevention of Harm)
3. 差別を容認しない(Non-Discrimination)
4. 公平性(Fairness)
5. 優位性に関する推定を行わないこと(No Presumption of Advantage)
6. 根拠に基づくアプローチ(Evidence-Based Approach)
7. 健康および身体の自律性の優先(Primacy of Health and Bodily Autonomy)
8. ステークホルダーを中心に据えたアプローチ(Stakeholder-Centered Approach)
9. プライバシーの権利(Right to Privacy)
10. 定期的な見直し(Periodic Reviews)

この新たな指針は2022年4月1日から適用されます(旧指針は2022年3月31日まで有効)。